

【学校教育目標】 お互いを大切にし、主体的に学び続ける児童の育成



みながっ子

わかる できる かわる たのしい学校

【校訓】
かしこく
やさしく
たくましく
やりぬく

令

和5年度がスタートして3か月が過ぎました。入学した当初は緊張していた1年生も、元気に笑顔で登校しています。すっかり「みながっ子」になっています。

この期間、6年生は学校の先輩として、「1年生のお手伝い役」として、校内各地で気を配りました。学校生活に慣れていない1年生にとっては、6年生のおかげで緊張しがちな学校生活に安心感をもつことができました。6年生への信頼感も高まったことでしょう。

わかりやすく伝えようと、手取り足取りでいねいに説明している6年生の姿、班長として、歩く速さを調整しながら歩いている姿は、最上級生としての自覚が感じられ、頼もしく思えます。

登校時、学校前の横断歩道を渡り終えた後、おいしそうに水筒の飲み物を飲んでいる子供たち。世界的に見ると、小学生段階の児童はまだまだ「親の送り迎え」が通学手段の主流です。子供だけで歩いて通学できる日本の治安の良さは、外国人から見たら驚きだそうです。

さて、東広島市「第5次学校教育レベルアッププラン」では、子供たちがこれからの社会を生きるために「自律性」「協働性」「創造性」などの「非認知能力」を学校で育てることを重視しています。

三永小学校では、全ての学級で、「自律した学び手を育てる授業」をつくる研究に日々取り組んでいます。

本校児童が「自律して学んでいる」姿とは、

- ① 自分の学びの状況がわかっている姿
(これはわかるけど、これはよくわかってないな。まるつけがきちんとできる…)
- ② 学びの目標をもっている姿
(この勉強のめあては〇〇だ…、次のテストにおけて…しよう…、最後まであきらめないぞ…)
- ③ 効果的な学習方法を知り、選択している姿
(あのやり方がいいな…、まねしてみよう、声にだして覚えよう、自分でテストしよう、考えてもわからなければ先生や友達にきこう)

片道約1kmを歩く人は、1日で2km。それを1年間続けたら約400km、6年間で約2,400kmも自分の足で歩くことになります。歩くだけで、自然と体力も備わります。おなかも空いて食欲もでます。ベストセラー、アンデシュ・ハンセン著「運動脳」には「運動はウォーキングを最低20分行うのがよい」「体を動かせば心と体が健康になり、脳の働きも良くなる」とされます。

自律性にかかわる「持久力、打たれ強さや粘り強さ」も毎日の登下校で備わります。自分の足で歩かなければ、学校にも着かないし、家にも帰り着きません。見守りの方々に感謝して、地域の人にあいさつしながら、今日も安全に登下校しましょう。

民生児童委員のみなさまが学校に来られました



6月20日(火)に、三永地区の民生児童委員の方々に学校に来ていただき、話し合いを行いました。今回は担当の方7名に来校していただきました。

民生委員は、厚生労働大臣委嘱のもと、ボランティアで地域の福祉や生活全般の見守りを行っていただいている方々です。常日頃から、子どもに関する支援活動に携わっていただいております。

各教室の授業を参観いただき、子供たちが頑張っている様子を見ていただきました。参観後は、子どもたちの様子や現在の教育事情などを話題に意見交流をしました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

土肥 正典 様	民生委員・主任児童委員
来得 緑 様	(担当地区) 上三永1・2・3区・峠
松山 正清 様	4区・5区
仲伏 英雄 様	三永1丁目・2丁目・高尾1・高尾4・加計・福成寺
道岡 憲三 様	本頭・吉光・大宮・池田地区
河本 聖治 様	諏訪・河田地区
高尾千恵子 様	末釜・向原・新開

授

業参観と学級懇談会を、23日(金)の午後行いました。たくさんの保護者、ご家族の方々に参加をしていただき、ありがとうございました。子供たちも、いつも以上に良い表情で張り切っていました。見られること、褒められること、応援されることで子供たちの学ぶ意欲は高まります。



7月の生活目標

☆ろうか・階段は静かに右側を歩こう☆

7月の保健目標

★夏の病気を防ごう★